

学校図書館経営と利用指導の実際

「坂東市学校図書館支援センター推進事業協力校としての取り組み」
- 読書センター・学習情報センターの機能の充実をめざして -



坂東市立岩井第二小学校
小林 友子

1 はじめに

学校図書館は「読書センター」「学習情報センター」「教材センター」の3つの役割を持つことが求められている。そこで、本校では、「本に親しみ、読書を通して感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにする」「学校図書館を利用し、学習の目的に合った情報や資料を選択し、活用する」の2つをねらいに図書館教育を推進している。

2 学校の概要

本校は、坂東市南部に位置し、20学級、児童数585名の中規模校である。児童は、明るくのびのびとしており朝の読書の時間や読み聞かせの時間をとても楽しみにしている。

本校の図書室は、2階の読み物図書を中心とした「読みものの部屋」と3階の調べ学習などに使える参考図書を中心とした「調べものの部屋」の2か所を設置している。

平成17年度から19年度までの3年間、坂東市教育委員会より指定を受け、国語教育の研究に取り組んできた。読書活動を通して、児童の言語能力を高めたり読書環境の充実を図ったりしながら、伝え合う力の育成を図るというサブテーマを掲げ国語科学習における読書活動の推進と日常の読書活動を通して読みの力や書く力を高める研究を進めてきた。

平成18年度より、国の委託を受け、教育委員会に学校図書館支援センターが設置された。非常勤の学校図書館協力員が配置され、公共図書館と連携を図りながら、蔵書の整理や環境の整備がすすめられている。

3 「学校図書館支援センター推進事業」について

(1) ねらい

学校図書館をよりよく機能させ、豊かな読書活動や学校図書館を中核とした学習活動を推進することで、児童、生徒の感性や表現力、思考力を高め、創造性を豊かにし、人生をより深く生きることができる読書力を育成するとある。

(2) 坂東市の調査研究の実際

協力校（小学校3校，中学校2校）と市立図書館（2館）で実践している。

調査研究の内容

学習情報センターとしての学校図書館の機能を生かし活用した学習指導の充実
豊かな心をはぐくむ読書センターとしての機能の充実
学校図書館間や学校図書館と公共図書館の連携
司書教諭・協力員の研修の実施
協力員と連携した図書委員会の活動の充実
地域人材の活用（図書館ボランティアの活用，地域人材による読み聞かせ）

4 本校の主な実践

読書センターとしての取り組み

児童が読みたい本を楽しみながら読むことができるよう、さまざまな工夫をしている。

(1) 学校図書館の環境整備と読書活動の推進

図書室が2教室あるため、2階を「読みものの部屋」、3階を「調べものの部屋」とし、用途別に分けている。



読みものの部屋



調べものの部屋

読みものの部屋

- ・読書に利用する。
- ・物語と絵本に分けて、児童が探しやすいよう、書名で五十音順の表示をしている。
- ・人気のあるジャンル（こわいはなし、かいけつゾロリ、にんたま乱太郎、こまったさんなど）やみんなにすすめたい1冊の本、国語の教科書に出てくる作者は、別置して見つけやすいようにしている。
- ・カーペットを敷き、座卓を置いている。
- ・この部屋のカウンターでのみ貸し出しや返却を行っている。

調べものの部屋

- ・調べ学習に利用する。
- ・配架はNDCに基づいている。
- ・パンフレットや参考作品なども置いている。

(2) 掲示物の工夫

図書館だより (資料 1)

季節に合わせた掲示物

いつでも入りやすいように、季節感のある明るく楽しい雰囲気作りを心がけている。

映画やテレビなどで映像化した作品の原作本の設置

- ・マリと子犬の物語、私と犬の10の約束、ハリーポッター、シュレック2、鹿男あをによしなど

お知らせコーナー(図書室入り口、図書室内)

- ・新着図書や団体貸し出しの本の紹介
- ・先生方のおすすめの本紹介
- ・季節のイベントに合わせた本の紹介
お正月、節分、ハロウィン、クリスマスなど
- ・授業に合わせた特設コーナー
アーノルドローベルコーナーなど
- ・廊下や階段への本の展示

学校図書館支援センターだよりの掲示

(年に2回担当) (資料 2)



アーノルドローベルコーナー

(3) 学級文庫の充実

各学年の担任からの要望に応じて、学級文庫用に市立図書館から団体貸し出しを受け、学期に3回の入れ替えを行っている。その際、ジャンルが偏らないように考慮している。

本を読むのが苦手な児童のために、絵本も置くようにしている。

(4) 読み聞かせ活動

異学年交流読み聞かせ (資料 3)

- ・朝の読書タイムを利用して月に1回実施。
(4年 2年, 5年 3年, 6年 1年)
- ・大型絵本, 紙芝居, 人形劇などを行っている。

- ・1年生・2年生の幼稚園児への読み聞かせ
(毎年2月に実施)

2年生は, 国語の授業の発展として, 幼小交流の時間に実施。

1年生は, 仲よし集会の中で音読を実施。

業間休みのおはなし会

- ・毎月, 第3金曜日に実施。(学校図書館協力員, 学校図書館ボランティア)
- ・絵本の読み聞かせ, 紙芝居などを行う。
市ボランティア団体によるおはなし会やブックトーク
- ・学期に1回実施。「森の会」「ひばりの会」「ぶんぶんクラブ」
- ・絵本だけでなく紙芝居も行う。



2年生に読み聞かせをする4年生

(5) 委員会活動

本の貸し出しや整理だけでなく, 本を読もう集会や低学年への読み聞かせなども行う。

- ・1, 2年生への読み聞かせ
- ・読書週間の企画, 開催(絵本や紙芝居の読み聞かせを実施した。)
- ・本を読もう集会の企画, 開催
(大型紙芝居, クイズを実施した。)
- ・本棚の整理
- ・本のリクエストの集計
- ・掲示物の作成

図書委員会主催のイベント

- ・読書週間(6月)の読み聞かせ
- ・本を読もう集会(11月)



本のリクエスト 集計の様子

(6) レファレンス

本を探している児童の対応をする。どこにどの本があるか, 図書室にどんな本があるのかをすぐに答えられるようにしている。

(7) 公立図書館との連携

- ・市立図書館から定期的に団体貸し出しを受ける。
- ・市立図書館司書による読み聞かせやブックトーク
- ・図書委員会の児童への読み聞かせの講習会
- ・協力員へのブックトークの指導
- ・配架の工夫やブッカーのかけ方, 本の修理の仕方の指導を受ける。

(8) 朝の読書タイムの充実

- ・火曜日から金曜日までの週4日，全校一斉に実施。(10分間)
- ・教師も一緒に読む。
- ・各自が前日に本を用意している。
- ・月に1回，異学年交流読み聞かせを実施。
- ・学期ごとに読んだ冊数を記録したミニ賞状を与えている。



(9) みんなにすすめたい1冊の本推進活動

- ・読書記録カード作成。(低・高学年用，年間集計用) (資料 4)
- ・読書記録をもとに，「みんなにすすめたい1冊の本推進事業」への毎月の報告を行っている。

(10) 本のリクエスト

年に1回，どんな本が読みたいのかを書いてもらうようにしている。リクエストが多かった本は，学校図書館協力員や図書館部員の先生方にも内容を検討をしてもらった上で購入を決めている。

(11) 読書感想文，読書感想画コンクールへの参加呼びかけ

- ・優秀作品の紹介や掲示

情報センターとしての取り組み

学習の目的に合った情報活用能力を育てるためのさまざまな工夫

(1) 学校図書館教育年間計画の作成 (資料 5)

(2) 国語・図書館連携年間計画の作成 (資料 6)

学校図書館協力員とのT・Tや図書室を利用した学習を位置づけている。

(3) 国語や総合的な学習の時間の単元別図書リスト作成 (資料 7)

このリストをもとに公立図書館から団体貸し出しを受けている。図書資料の準備も計画的にできるようになった。

(4) 各教科の参考作品の収集

国語の時間に書いた作品や総合的な学習の時間にまとめた資料などを整理し，次年度の参考になるよう保管している。

(5) 学校図書館利用指導計画の作成 (資料 8)

情報活用能力を高められるように学年に合わせた学習を位置づけている。

(6) 「調べ学習のすすめ方」の作成 (資料 9)

(7) 学校図書館協力員とのTT (図書室を利用した学習)

全クラスへの図書館オリエンテーション

- ・本の借り方・返し方の確認をする。
- ・貸し出しのきまりを教室にも掲示している。（資料 10）
- ・ラベル，分類番号の説明をする。
- ・調べ学習が始まる3年生を対象に百科事典の引き方について説明する。
（目次や索引の見方）
- ・インターネットを利用した検索の仕方の助言をする。

朝の読書タイムを利用した読み聞かせ

- ・「あしたもあそぼうね」 あまんきみこ 金の星社
- ・「はなすもんかー！」 高西達也 すずき出版
- ・「あしたともだち」 内田麟太郎 偕成社



国語の時間の実践

ア・単元

「ありの行列」 第3学年

・目標

ありについて調べる資料の中から必要なもの，そうでないものを考え，ありの行列絵本のあとがきを書こう。

・図書室の利用

単元の最後に，図鑑や図書資料からありの秘密などを調べた。

・学校図書館協力員の支援

図鑑の引き方の指導をした。児童からのレファレンスに答え，図書資料を提供した。

・参考資料（抜粋）

「クロクサアリのひみつ」	山口 進	アリス館
「アリの世界」	栗原 慧	あかね書房
「フェアブルこんちゅう記」	小林清之助	小峰書店
「学研の図鑑 昆虫」	深谷昌次	学習研究社
「クロオオアリ」	東 正剛	集英社

イ・単元

「ちいちゃんのかげおくり」 第3学年

・目標

ほかの戦争や平和について書かれた作品を読んで紹介をしよう。

・図書室の利用

単元の最後に，戦争や平和について書かれた本を読み，紹介文を書いた。

・学校図書館協力員の支援

単元に入る前に，「地雷ではなく花をください」の読み聞かせを行った。また，戦争や平和についての図書資料を児童からのレファレンスに答え，提供した。

・参考資料（抜粋）

「かわいそうなぞう」	土家由岐雄	金の星社
「火垂るの墓」	野坂昭如	徳間書店
「おこりじぞう」	山口勇子	新日本出版社
「ひろしまのピカ」	丸木 俊	小峰書店
「えんぴつびな」	長崎源之助	金の星社

- 「まっ黒なおべんとう」 児玉辰春 新日本出版社
 「よっちゃんのビー玉」 児玉辰春 新日本出版社
 「トビウオぼうやはびょうきです」いぬいとみこ 金の星社
 「さとうきび畑の唄」 遊川和彦 汐文社

ウ・単元

「いろいろなくちばし」 第1学年

・目標

鳥あてクイズごっこの問題を作って，クイズ大会をしよう。

・図書室の利用

鳥の図鑑や資料の中から鳥のくちばしについて調べ，クイズ文を書いたり，答えのカードの絵を描いたりした。

・学校図書館協力員の支援

児童からのレファレンスに答え，図書資料を提供した。

・参考資料（抜粋）

- | | | |
|----------------|------|-------|
| 「小学館の図鑑 NEO 鳥」 | 上田恵介 | 小学館 |
| 「鳥のくちばし図鑑」 | 国松俊英 | 岩崎書店 |
| 「はやぶさの四季」 | 松田忠徳 | あかね書房 |
| 「フクロウ」 | 福田俊司 | あかね書房 |
| 「カラスのくらし」 | 菅原光二 | あかね書房 |
| 「ツバメのくらし」 | 菅原光二 | あかね書房 |



総合的な学習の時間の実践

ア・題材

「元気いっぱいけんこうキッズ」 第3学年

・目標

病気の予防，けがの手当て，体の仕組みについてそれぞれにテーマを決めて調べよう。

・図書室の利用

調べ学習のために必要な図書資料を探した。

・学校図書館協力員の支援

図鑑の使い方，インターネットによる検索の方法を説明した。また，児童からのレファレンスに答え，図書資料を提供した。

・参考資料（抜粋）

- | | | |
|--------------|-------|--------|
| 「病気のひみつ」 | 楠 高治 | 学習研究社 |
| 「からだのひみつ」 | 横田弘行 | 学習研究社 |
| 「からだのしくみクイズ」 | 竹内修二 | 合同出版 |
| 「病原体とたたかう」 | 鈴木喜代春 | 岩崎書店 |
| 「ひとのからだ」 | 細谷亮太 | フレーベル館 |
| 「からだ」 | 阿倍和厚 | 学習研究社 |
| 「病気やケガの防止」 | 尾花美恵子 | 学事出版 |



イ・題材 「広げよう心のバリアフリー」 第4学年

- ・目標
手話，盲導犬，手話についてそれぞれテーマを決めて調べよう。
- ・図書室の利用
調べ学習のために必要な図書資料を探した。
- ・学校図書館協力員の支援
図鑑の使い方，インターネットによる検索の方法を説明した。また，児童からのレファレンスに答え，図書資料を提供した。
- ・参考資料（抜粋）

「手話をはじめよう」	こどもくらぶ	岩崎書店
「指文字を覚えよう」	こどもくらぶ	岩崎書店
「盲導犬」	アイメイト協会	すずき出版
「人と社会のために働く犬たち1」	日本補助犬協会	金の星社
「はじめての点字」	石井みどり	偕成社



5 成果と今後の課題

50冊以上読んだ児童の割合

(1) 取り組みの成果

朝の読書タイムの実施を継続することにより，読書の習慣化が図られ，児童の読書量も増えてきている。
 児童にリクエストを取り，今はやりの本を揃えたことにより，図書室に足を運ぶ児童の数が増えてきた。
 図書館が明るくなり，図書室や廊下の特設コーナーも子どもたちの関心を高めた。
 学校図書館協力員の存在もあり，図書室に足を運ぶ児童の数が増えてきた。
 異学年交流の読み聞かせにより，読み聞かせをしてもらった低学年の児童は本に興味が増し，楽しいひとときを過ごすことができた。また，高学年の児童も本に対する興味が高まり，満足感・達成感も味わうことができた。
 国語・図書館連携年間計画を活用することにより，より円滑に図書館との連携を図ることができた。
 学年に応じたオリエンテーションを毎年行うことで，積み重ねができ，図書室の資料の選び方が段階的に身につけてきている。
 学校図書館協力員とのTTを行い，一人一人にきめ細かくサポートすることで，集中力も増し，短時間で効果的な調べ学習ができるようになった。

1年生	100%
2年生	100%
3年生	94%
4年生	97%
5年生	100%
6年生	52%

(2) 取り組みの課題

高学年になるにしたがって，不読者が見られるので個に応じた読書相談を充実させたい。
 季節の読み物や読書への関心や意欲をさらに高めるためのイベントなどを工夫していきたい。
 学校職員，司書教諭，学校図書館協力員が連携して，読書活動や学校図書館を活用した学習活動を推進していきたい。

追加関連資料 パンフレット 楽しい学校図書館 (資料 11)



図書室ニュース

2008.6.25 第2

号

岩井第二小学校 図書室

発行

いよいよ梅雨に入り外で遊べない日がふえてきますね。こんなときこそ図書室に足を運んで普段はなかなか読めない長編の本や、シリーズ本をよんでみませんか？

7月にはまた新しい本がたくさん入ってきますので楽しみにしててくださいね。



図書室の使い方が変わりました！

本の貸し出し手続きは2階図書室だけで行なうことになりました。3階の本を借りる場合も2階に来て貸し出し手続きをしてください。返却も2階をお願いします。

図書貸し出しカードに記入して本を借りてください。カードは2階図書室においてあります。返すときは貸し出しカードに返した日を書いて本にはさんで返却箱に入れましょう。

図書室ボランティア活動ニュース

図書館協力員とボランティアさんによる、本の読み聞かせ、かみしばい、ブックトークを毎月第3金曜日の中休みに、行うことになりました。休み時間はぜひ図書室に聞きに来てくださいね。

新しいボランティアさんが二人入ってくださいました。

海老原さんと富塚さんです。二人ともとても積極的に活動に参加

してくださり、図書室がどんどん楽しい空間に変わってきてい

ます。ボランティアの人の作ったかわいらしい掲示物が図書室の

入り口や中の掲示板に貼ってあります。

よく見てみてくださいね。毎月テーマが変わりますよ。



図書室ボランティアさんまだまだ募集中！～急募です～

本の整理や修理，よみきかせ，かみしばいなどをお手伝いしてくださるボランティアの方を引き続き募集しています！

週1回，午前中2時間くらいです。毎週水曜日，金曜日が主な活動日になっています。

興味のある方は，ぜひ一度見学にいらしてください。

(見学にいらっしゃる場合は事前に日にち，時間等，学校にご連絡ください。

よろしく願いいたします。)



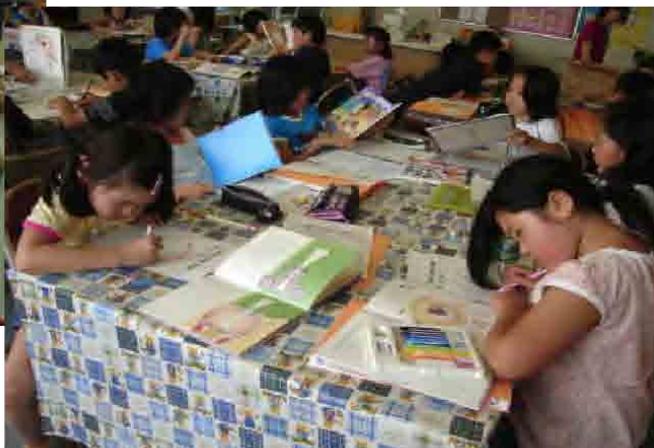
1 学校図書館の機能を活用した学習活動や読書活動の取り組み



休み時間の図書室の様子

学校図書館の学習センターとしての機能を生かし、一生懸命に学んでいます。

学校図書館を活用した読書活動や学習活動の取り組みを紹介します。



総合的な学習の時間 調べ学習の様子

読書の日常化を図るために
図書館の環境整備

本校には、本で調べるための「調べものの部屋」と本を読むための「ものがたり
の部屋」があります。学校図書館協力員と協力し、配架を工夫して児童が必要な本
を手にとれるようにしたり、図書委員会の児童が季節にあった掲示物をつくっ
て貼ったりと
図書室の環境を整備し、読書意欲を高めています。

読書習慣の形成

児童の読書力を高めるために、毎週火曜日から金曜日までを全校一斉読書タイム
にしたり、月に一回「異学年交流読み
聞かせ」を行っています。また、市立
図書館の方やボランティアの方のブ
ックトークやお話し会も行っています。



5年生による読み聞かせ



4年生による読み聞かせ



学級担任による読み聞かせ

図書館と授業を結ぶために

協力員と連携し、情報を活用する学び方について児童に学習支援をできるように考えています。また、本校は国語科の研究を進めているので図書館との関連を図った年間指導計画も作成し、活用しています。

3年生 「ありのひみつをさがろう」 - ありの行列 - (国語) の実践から

・ 課題設定の場

単元の導入に学校図書館協力員によるブックトークを行うことが学習意欲を高めるとともにありの体の仕組みや特徴にも目を向けるなど、課題を広げるのに効果的でした。



協力員によるブックトーク

・ 情報収集の場

図書資料から情報収集力を高めようと考えました。

そこで、蟻に関する図書資料をあらかじめ市立図書館や図書館から集めておき、教科書以外の資料で補って読めるようにしました。



調べ学習の様子

児童一人一人が自分で課題をもって学習を進めていくうえで支援できるように協力員と担任とのT.Tで行いました。

その結果、児童は意欲的に学習に取り組み、効果的に図書資料を活用することができました。

この学習のあと、図書館で虫の名前を調べたり科学のアルバムシリーズを借りたりして科学的な図書にも関心をもち、活用の幅の広がりが見られるようになりました。



・ 情報整理の場

教材文を繰り返し音読し，蟻の体の仕組みや特徴について読み取らせ，教材文にない蟻について疑問の思うことを調べることにしました。

蟻の体の各部位はどうなっているか，巣や生活の様子はどうかをまとめていくようにしました。



仕上がった作品

・ 情報発信の場

交流学級の5年生に仕上がった「ありのひみつずかん」を見てもらうことで情報を発信する喜びを味わうことができました。5年生が意図を汲んでくれ，目を通してくれる中で不十分な点が加えられたり修正されたりして，満足できるものになりました。



5年生との交流

3年生 「図鑑の使い方」の実践から

学校図書館協力員とのチームティーチングで，目次や索引の使い方を学習し，図鑑で調べるときに役立ってます。



索引や目次を使って調べています

2 今後の課題

国語科ばかりでなく他教科においても図書館との関連を図った年間指導計画を作成したり，授業で使える本や資料をリスト化し，学習情報センターとしての機能を充実させていきたいと考えています。

『読みものの部屋』の様子



図書館の新刊コーナーには関心が高く、新しい本を手に取り、借りている児童が多く見られます。

また、季節の行事の特集コーナーにも人気が集まっています。



新刊図書コーナー

読書の日常化を図るために

朝読書での取り組み

本校では、ドリルの時間(10分間)を朝読書の時間とし、読書の習慣化を図っています。

本は前日に準備し、机の上や机の中に置いておき、時間と同時に始められるようにしています。その際には、学習まんがや図鑑以外の本と決めて活字に親しむようにしています。

下校時の教室の様子

朝読書の約束を

1. 先生も一緒に読む。
2. 黙って読む。
3. みんなで読む。
4. しっかり読む。

としています。

朝読書は、読書の習慣づけになっているほか、本の貸し出し数が大幅に増えるなど大きな成果となっています。

季節の特集『ハロウィン』コーナー



朝の読書の時間の様子



図書コーナーの設置

図書館に行ってもなかなか自分で本を選べない児童のために、教室内に本を置くことにしました。

学年ごとにテーマを決めたり、9番台に偏ったりすることのないようにさまざまなジャンルの本を置くように心がけています。

いつも同じようなものでなかなか違うジャンルの本に手が伸びない児童には、教師が薦めたりもしています。

月に一回本の入れかえをし、手軽にいろいろな本が読めるようにしています。

教室の図書コーナー



読み聞かせ・ブックトーク

市立図書館司書やボランティアの方々に『読み聞かせ』や『ブックトーク』を実施してもらっています。

授業内容と絡めながら、「ファンタジー作品を読もう」や「伝記を読もう」「詩集を読もう」などと意図的に教師がテーマを決め、ふだん子どもたちが自分からは進んで読まないような本に興味や関心をもつことで、読書の幅がより広がるとも期待しています。

子どもたちは、読み聞かせやブックトークの時間をとても楽しみにしていて熱心に聞いています。



森の会のみなさんによる読み聞かせ

図書館活用事例集を活用した読書活動

3年生『ちいちゃんのかげおくり』
 3年生の国語の「ちいちゃんのかげおくり」の学習後、ぜひこの学習をきっかけに戦争文学にも興味を持たせ、子どもたちの読書活動の幅を広げたいという思いから「国語・学校図書館連携年間計画」の中から本を選び、市立図書館で本を揃えてもらいました。



協力員によるブックトーク

学校図書館協力員によるブックトークを実施したり、学級文庫に入れたりして子どもたちに読ませました。

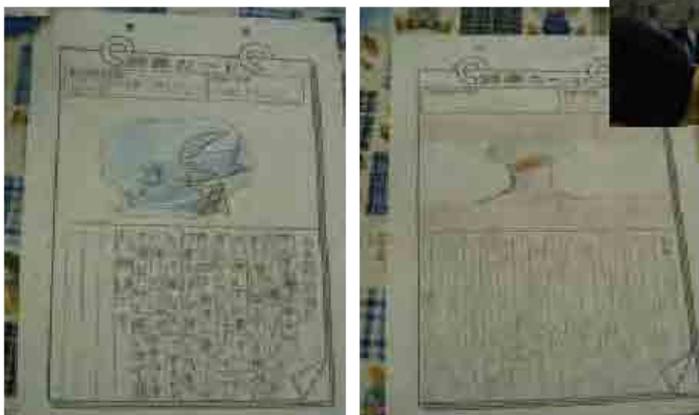
「ちいちゃんのかげおくり」の学習で戦争についての悲しさ、恐ろしさなどを感じ取っていた子どもたちは本を食い入るように読んでいました。中には、本を手に取り、その内容について自分が思ったことを一生懸命教師や友達に話す子も見られました。

原爆についての関心が高まり、また、戦争後も恐ろしい核実験が繰り返されていることを知り、平和に対する願いをより深めることができ、子どもたちの読書活動の幅を広げることができました。

戦争後も恐ろしい核実験が繰り返されていることを知り、平和に対する願いをより深めることができ、子どもたちの読書活動の幅を広げることができました。

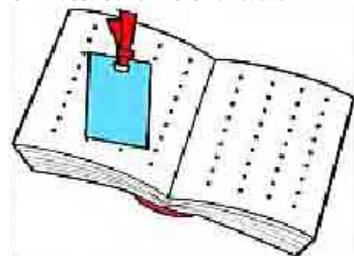


紹介したい本を選ぶ場面



読んだ本の紹介文

本の紹介文を書く場面





学校図書館協力員と担任とのT・T授業の中にブックトークを取り入れていくことによって、子どもたちの学習活動を豊かにすることができました。

ブックトークによって興味・関心を高め、動機付けをすることができました。また、学習に図書資料を使うことも覚えました。さらに、国語や総合的な学習を中心とした学習の中で課題意識をもつこともできました。

自分の読んだ本を紹介する場面

3年生『すがたをかえる大豆』

大豆変身クイズの「豆知識コーナー」に載せる記事のために、図書資料の中から友だちに教えたい特ダネを見つけています。

納豆の糸はどこまで伸びるのか、豆腐は何時代からあるのか、醤油の上手な保存法は？など興味のある事柄を探しだして書いていま

した。



4年生『4年3組から発信します』



読みものの部

屋から自分のお気に入りの本紹介文を書きました。その紹介文を1冊の本にまとめま

を選んで読み、あと、書いた紹介した。

全クラスに1冊ずつ配られ、本を選ぶときの参考として役立っています。

平成20年度 異学年交流読み聞かせ実施計画

(資料3)

読書活動研究部

1 目 標

- ・異学年の交流を大切にして、仲良く励みあい、より豊かで深まりのある読書活動ができるようにする。
- ・一人一人の児童がより多くの本に興味をもつことができるようにし、読書の楽しさに気づくことができるようにする。
- ・読み聞かせをする児童も聞く児童も読書活動の習慣化を図り、主体的に読書活動にかかわることができるようにする。

- 2 読み聞かせをする学年 4年・5年・6年
- 3 対象学年 1年・2年・3年
- 4 縦割りクラスの組み方 6年生と1年生，5年生と3年生，4年生と2年生
- 5 期 日 6月 7月 10月 11月 2月 3月

	1の1	1の2	1の3
6の1	6/27 7/15 10/14 11/28 2/13 3/6		
6の2		6/27 7/15 10/14 11/28 2/13 3/6	
6の3			6/27 7/15 10/14 11/28 2/13 3/6

	3の1	3の2	3の3
5の1	6/27 7/15 10/14 11/28 2/13 3/6		
5の2		6/27 7/15 10/14 11/28 2/13 3/6	
5の3			6/27 7/15 10/14 11/28 2/13 3/6

	2の1	2の2	2の3
4の1	6/27 7/15 10/14 11/28 2/13 3/6		
4の2		6/27 7/15 10/14 11/28 2/13 3/6	
4の3			6/27 7/15 10/14 11/28 2/13 3/6

紙しばい，ペープサート，群読なども取り入れられるとよいと思います。

(資料 4)

読書の記録 何冊読んだかな？

4年
5年
6年

組
組
組

	4月	5月	6月	7月	1学期計
4年					
5年					
6年					



	8月	9月	10月	11月	12月	2学期計
4年						
5年						
6年						

	1月	2月	3月	3学期計
4年				
5年				
6年				

年間合計



とく しょ

読書きろくカード



まい目

年 組 ()

	本の ^{ほん} 名 ^な 前 ^{まえ}	かいた日	かえした日
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成 2 1 年度 図書館活動年間計画

(資料5)

月	内 容	備 考
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・開館準備 ・オリエンテーション(2～6年生) ・図書委員会の組織づくり 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション(1年生) ・購入希望図書の選定 ・本の貸し出し開始 ・学校図書館ボランティアによる読み聞かせ開始 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流読み聞かせ開始 ・読書週間「おはなし会」実施(図書委員会) ・学校図書館ボランティアによる読み聞かせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流読み聞かせの内容は、各学年に任せる。
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流読み聞かせ ・課題図書の紹介と読書感想文コンクールへの応募 ・本を返そう週間(返却のみ) ・おはなし会(市ボランティア) ・学校図書館ボランティアによる読み聞かせ ・読書賞の表彰 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・新刊図書の受け入れと配架 ・蔵書の整理 ・廃棄図書の決定 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・本の貸し出し開始 ・新刊図書の紹介 ・学校図書館ボランティアによる読み聞かせ ・読書感想文取りまとめ 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流読み聞かせ ・学校図書館ボランティアによる読み聞かせ ・本を読もう集会の企画・練習 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流読み聞かせ ・本を読もう集会の実施 ・学校図書館ボランティアによる読み聞かせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・本を読もう集会の内容は本の紹介、紙芝居、図書室の使い方など
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会(市ボランティア) ・学校図書館ボランティアによる読み聞かせ ・本を返そう週間(返却のみ) ・読書感想文コンクールへの応募 ・読書賞の表彰 ・蔵書の整理 	
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・本の貸し出し開始 ・学校図書館ボランティアによる読み聞かせ ・本のリクエスト実施 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流読み聞かせ ・学校図書館ボランティアによる読み聞かせ ・おはなし会(市ボランティア) ・本のリクエストによる購入希望図書の選定 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流読み聞かせ ・学校図書館ボランティアによる読み聞かせ ・本を返そう週間(返却のみ) ・読書賞の表彰 ・館内整備・蔵書の確認 	

平成21年度 国語・図書館連携年間計画

岩井第二小学校

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年		・ことばをいれてぶんをつくろう	・いろいろなくちばし	・おむすびころりん(物)	・じどう車くらべ(説)		・ずっと、ずっと大すきだよ(物)		・あめふりくまのこ	・どうぶつの赤ちゃん(説)	・たぬきの糸車(物)
2年		・たんぼのちえ(説) ・かんさつ名人になろう	・スイミー(物)		・おおきくなあれ	・サンゴの海の生き物たち(説) ・お手紙(物)	・こんなお話を考えた	・一本の木(説)	・いるか(詩) ・音やようすをあらわすことば		・スーホの白い馬(物)
3年	・きつつきの商売(物)	・ありの行列(説) ・わたしと小鳥とすずと(詩) ・国語辞典を使おう(言)		・三年とうげ(物) ・本は友だち本のさがし方		・ちいちゃんのかげおくり(物)	・すがたをかえる大豆(説) ・食べ物がかせになるう	・せつめい書を作ろう(説)	・たから物をさがしに ・へんしん物語	・漢字と友だち(説) ・モチモチの木(物)	
4年		・かむことのか(説)	・新聞記者になろう	・白いぼうし(物)	・ぼく(詩) ・「伝え合う」ということ	・一つの花(物)	・いろいろな意味をもつ言葉		・言葉遊びの世界	・ごんぎつね(物)	・心でパチリ
5年	・新しい友達(物)	・サクラソウとトマルハナバチ(説) ・言葉の研究レポート(書)	・千年の釘にいどむ(説)	・本は友達		・わらぐつの中の神様(物)			・物語を作ろう(書)	・大造じいさんとガン(物)	
6年	・本に親しみ自分と対話しよう	・短歌・俳句の世界		・読書の世界を深めよう		・みんなで生きる町 ・やまなし(物)		・平和のとりでを築く			・海のいのち(物)

平成 2 1 年度 学校図書館利用指導計画 (資料 8)

第 1 学年

単 元 名	時 期	指 導 内 容	備 考
こんにちは としょかん	1 学期	図書室は本を借りたり読んだりする教室であることを知り，マナーを知る。	生活「がっこうたんけんをしよう」
本はどうやって かりるの？	1 学期	本の借り方・返し方が分かる。 どこにどんな本があるかだいたい分かる。 本の扱い方が分かる。	国語「おはなしいっぱい」
さがしてみよう	3 学期	自分で調べる本を探し，調べ学習をすることにより，興味・関心を広げる。	国語「どうぶつの赤ちゃん」

第 2 学年

単 元 名	時 期	指 導 内 容	備 考
図かんってなあに？	1 学期	いろいろな図鑑の初歩的な調べ方が分かる。	生活「生きものともだち」 国語「たんぽぽのちえ」
本はどうやって ならんでいるの？	2 学期	同じ種類の本は同じ棚に揃えて並べてあることに気づき，いろいろなジャンルの本を読もうとする。	国語「スイミー」 「お手紙」 「本は友だち」

第 3 学年

単 元 名	時 期	指 導 内 容	備 考
図書室の本の並び方のひみつをさがそう	1 学期 前半	館内の掲示を手がかりに本をさがすことができる。	国語「本のおびをつくらう」
調べる本をさがそう	2 学期 前半	本の区分が分かり，その区分に従って本が配架されていることが分かる。 特設コーナーについて知る。	国語「パンフレットを作ろう」 総合的な学習の時間 「元気いっぱいけんこうキッズ」

第4学年

単元名	時期	指導内容	備考
百科事典を調べよう	1学期前半	50音順, ジャンル別百科事典の使い方を知る。(目次, 索引)	・50音別百科事典 ・項目別百科事典
市立図書館を利用しよう	1学期後半	市立図書館を利用するときのマナーや, 受けられるサービスについて知る。	
インターネットで調べよう	2学期前半	インターネットの利用法が分かる。	総合的な学習の時間 「広げよう心のバリアフリー」

第5学年

単元名	時期	指導内容	備考
請求番号の意味を知ろう	1学期	日本十進分類を知り, 必要な本をさがすことができる。	
年鑑・統計資料で調べよう	2学期	年鑑や統計の意味, 利用法が分かる。	・ジュニア朝日年鑑 ・日本のすがた

第6学年

単元名	時期	指導内容	備考
目的にあった情報の選び方	1学期	自分の必要とする情報収集の方法を知る	・百科事典 ・図鑑 ・国語・漢和辞典 ・インターネット ・年鑑 ・統計資料 ・伝記 ・その他の本

調べ学習のすすめ方



テーマを決める

まずは、「テーマ」を見つけるところから調べ学習は始まります。
身近なところには、その「テーマ」がいっぱいあるから探してみよう。

問題をさがして、予想しよう

「テーマ」をもとに、細かくどんなことを調べるか問題をさがそう。
どんな答えになるか予想してみるのも、おもしろいよ。

問題さがしのヒント

- ◇ 調べたいことをたくさんあげてみよう。
- ◇ グループにわかれて話し合ってみよう。
- ◇ 調べ方の計画をたてよう。



③調べてまとめよう

どんな問題を調べていくのか決まったら、それにそって調査をスタート。
いろんな調べ方があるから、参考にしてみよう。

調べ方のヒント

- ◇ インターネットや本などを調べてみよう。
インターネットや学校の近くの図書館で資料を探してみよう。
- ◇ その場所に行ってみよう。
外に見学に行くと、新しい発見がたくさんあるよ。
- ◇ お話を聞きに出かけよう。
自分の家族・近所に住むおじいちゃんやおばあちゃんに聞いてもよいかも。
- ◇ 記録ノートをつくろう。
メモや写真、聞いたお話の内容を、グループごとにノートにまとめてみよう。

④伝えよう・広めよう

調べてきたことをもとに、クラスや学年で発表しよう。
みんなに発表することで、調べてきたことについて自分の考えも深まります。

発表のヒント

- ◇ 発表することを大きな紙やレポートにまとめよう。
- ◇ 新聞やかみしばいにするのもいいね。
- ◇ 発表会に、お話を聞いた人を招待しよう。



⑤保存しよう

カード、ノートの保存をしよう。
発表に使ったもので、大きすぎるものは、写真にとっておこう。

としょしつのかい方のきまり

岩井二小 としょ いんかい
図書委員会

1 かし出しの方法

【かり方】

- ・図書室に行き、学年のカード入れから自分のカードを取って、読みたい本を選ぶ。
- ・選んだ本の名前とかりた日を個人カードに書く。
- ・個人カードを学年のカード入れに入れる。

【かえし方】

- ・かりた本を持って行き、学年のカード入れから自分のカードを取る。
- ・個人カードに返した日を書く。
- ・個人カードをかりた本にはさみ、返却箱に入れる。

2 かし出す時間・きかん

- ・中休み(10:20~10:35)
- ・かりた日から1週間以内。
1・2年生は、たんにんの先生といっしょにかりましょう。

3 図書室の使い方

- ・手をあらって、きれいにする。
- ・上ばきをぬぎ、そろえる。
- ・本にらく書きをしたり、せんを引いたりしない。
- ・図書室で遊ばない。
- ・電気をつけたり、窓を開けたりしたら、せきにんをもって消したりしめたりする。
- ・せきを立つときは、いすをテーブルの下に入れる。
- ・ゴミは、ゴミ入れに入れる。
- ・こまったことやいけんは、図書委員や先生に話す。

